事前伺い

［平成２０年度設置］
計画の区分：研究科の専攻設置

鳥取大学大学院工学研究科機械宇宙工学専攻、情報エレクトロニクス専攻、化学・生物応用工学専攻、社会基盤工学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人　鳥取大学
平成２１年５月１日現在

作成担当者
担当部局（課）名
職名・氏名　企画課長　筏津（イカダツ）　隆広（タカヒロ）
政策企画係長　北島（キタジマ）　敏郎（トシロウ）
電話番号　０８５７－３１－６７４５
（夜間）　０８５７－３１－６７４５
ＦＡＸ　０８５７－３１－５０３５
ｅ－mail　ma-seisaku@adm.tottori-u.ac.jp

目　　次

１　調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・　１

２　授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

３　既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

４　教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２

５　その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

国　立　大　学　法　人　　鳥　取　大　学

（2）大　学　名

鳥　取　大　学　大　学　院

（3）大学の位置

〒680-8550
鳥取県鳥取市湖山町南４丁目１０１番地

（注）　『（3）　大学の位置』は，対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。

（4） 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

（注）1　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
2　様式は，平成１９年度開設の博士後期課程の場合（平成２１年度までの３年間）ですが，開設年度に合わせて作成してください。（修業年限が２年以下の場合には欄を削除し，４年以上の場合には，欄を設けてください。）
3　定員を変更した場合は，備考欄に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（4）－①　調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称（学位）	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
	年	人	人	
工学研究科 機械宇宙工学専攻 （博士前期課程） 修士（工学）	2	39	78	工学部 機械工学科 応用数理工学科
工学研究科 情報エレクトロニクス専攻 （博士前期課程） 修士（工学）	2	45	90	工学部 知能情報工学科 電気電子工学科
工学研究科 化学・生物応用工学専攻 （博士前期課程） 修士（工学）	2	30	60	工学部 物質工学科 生物応用工学科
工学研究科 社会基盤工学専攻 （博士前期課程） 修士（工学）	2	39	78	工学部 土木工学科 社会開発システム工学科
工学研究科 機械宇宙工学専攻 （博士後期課程） 博士（工学）	3	6	18	工学研究科 機械宇宙工学専攻 （博士前期課程）
工学研究科 情報エレクトロニクス専攻 （博士後期課程） 博士（工学）	3	6	18	工学研究科 情報エレクトロニクス専攻 （博士前期課程）
工学研究科 化学・生物応用工学専攻 （博士後期課程） 博士（工学）	3	4	12	工学研究科 化学・生物応用工学専攻 （博士前期課程）
工学研究科 社会基盤工学専攻 （博士後期課程） 博士（工学）	3	5	15	工学研究科 社会基盤工学専攻 （博士前期課程）

（注）　「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

（4）－②　調査対象研究科等の入学者の状況

機械宇宙工学専攻（博士前期課程）

区分 ＼ 報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平均入学定員超過率	備考
	人	人	倍	
A　入学定員	（ － ）39	（ － ）39	1.1	
志願者数	（ － ）57	（ － ）43		
受験者数	（ － ）56	（ － ）42		
合格者数	（ － ）48	（ － ）41		
B　入学者数	（ － ）47	（ － ）39		
入学定員超過率 B／A	（ － ）1.2	（ － ）1		

情報エレクトロニクス専攻（博士前期課程）

区分 ＼ 報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平均入学定員超過率	備考
	人	人	倍	
A　入学定員	（ － ）45	（ － ）45	1.42	
志願者数	（ － ）65	（ － ）87		
受験者数	（ － ）63	（ － ）85		
合格者数	（ － ）59	（ － ）75		
B　入学者数	（ － ）56	（ － ）72		
入学定員超過率 B／A	（ － ）1.24	（ － ）1.6		

化学・生物応用工学専攻（博士前期課程）

区分 ＼ 報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平均入学定員超過率	備考
	人	人	倍	
A　入学定員	（ － ）30	（ － ）30	1.53	
志願者数	（ － ）50	（ － ）59		
受験者数	（ － ）49	（ － ）58		
合格者数	（ － ）47	（ － ）52		
B　入学者数	（ － ）44	（ － ）48		
入学定員超過率 B／A	（ － ）1.46	（ － ）1.6		

社会基盤工学専攻（博士前期課程）

区分 ＼ 報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平均入学定員超過率	備考
	人	人	倍	
A　入学定員	（ － ）39	（ － ）39	1.06	
志願者数	（ － ）44	（ － ）49		
受験者数	（ － ）44	（ － ）48		
合格者数	（ － ）41	（ － ）46		
B　入学者数	（ － ）41	（ － ）42		
入学定員超過率 B／A	（ － ）1.05	（ － ）1.07		

機械宇宙工学専攻（博士後期課程）

区分 ＼ 報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平均入学定員超過率	備考
	人	人	人	倍	
A 入学定員	（ － ） 6	（ － ） 6	（ － ）	0.41	
志願者数	（ 2 ） 3	（ 1 ） 2	（ － ）		
受験者数	（ 2 ） 3	（ 1 ） 2	（ － ）		
合格者数	（ 2 ） 3	（ 1 ） 2	（ － ）		
B 入学者数	（ 2 ） 3	（ 1 ） 2	（ － ）		
入学定員超過率 B／A	（ － ） 0.5	（ － ） 0.33	（ － ）		

情報エレクトロニクス専攻（博士後期課程）

区分 ＼ 報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平均入学定員超過率	備考
	人	人	人	倍	
A 入学定員	（ － ） 6	（ － ） 6	（ － ）	1.24	
志願者数	（ 6 ） 12	（ 4 ） 4	（ － ）		
受験者数	（ 6 ） 11	（ 4 ） 4	（ － ）		
合格者数	（ 6 ） 11	（ 4 ） 4	（ － ）		
B 入学者数	（ 6 ） 11	（ 4 ） 4	（ － ）		
入学定員超過率 B／A	（ － ） 1.83	（ － ） 0.66	（ － ）		

化学・生物応用工学専攻（博士後期課程）

区分 ＼ 報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平均入学定員超過率	備考
	人	人	人	倍	
A 入学定員	（ － ） 4	（ － ） 4	（ － ）	1.37	
志願者数	（ 2 ） 6	（ － ） 5	（ － ）		
受験者数	（ 2 ） 6	（ － ） 5	（ － ）		
合格者数	（ 2 ） 6	（ － ） 5	（ － ）		
B 入学者数	（ 2 ） 6	（ － ） 5	（ － ）		
入学定員超過率 B／A	（ － ） 1.5	（ － ） 1.25	（ － ）		

社会基盤工学専攻（博士後期課程）

区分 ＼ 報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平均入学定員超過率	備考
	人	人	人	倍	
A 入学定員	（ － ） 5	（ － ） 5	（ － ）	0.8	
志願者数	（ 4 ） 6	（ 1 ） 2	（ － ）		
受験者数	（ 4 ） 6	（ 1 ） 2	（ － ）		
合格者数	（ 4 ） 6	（ 1 ） 2	（ － ）		
B 入学者数	（ 4 ） 6	（ 1 ） 2	（ － ）		
入学定員超過率 B／A	（ － ） 1.2	（ － ） 0.4	（ － ）		

（注）１　（　）内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

２　「平均入学定員超過率」欄には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については，小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入し，平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

（４）－③　調査対象研究科等の在学者の状況

機械宇宙工学専攻（博士前期課程）

学年＼報告年度	平成２０年度	平成２１年度	備考
１年次	[1] 47	[－] 39	
２年次	[－]	[1] 47	
３年次	[－]	[－]	
計	[1] 47	[1] 86	

情報エレクトロニクス専攻（博士前期課程）

学年＼報告年度	平成２０年度	平成２１年度	備考
１年次	[－] 56	[2] 72	
２年次	[－]	[－] 54	
３年次	[－]	[－]	
計	[－] 56	[2] 126	

化学・生物応用工学専攻（博士前期課程）

学年＼報告年度	平成２０年度	平成２１年度	備考
１年次	[1] 44	[－] 48	
２年次	[－]	[1] 42	
３年次	[－]	[－]	
計	[1] 44	[1] 90	

社会基盤工学専攻（博士前期課程）

学年＼報告年度	平成２０年度	平成２１年度	備考
１年次	[－] 41	[－] 42	
２年次	[－]	[－] 37	
３年次	[－]	[－]	
計	[－] 41	[－] 79	

機械宇宙工学専攻（博士後期課程）

学年＼報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	備考
１年次	[1] 1	[－] 2	[－]	
２年次	[－]	[1] 3	[－]	
３年次	[－]	[－]	[－]	
計	[1] 1	[1] 5	[－]	

情報エレクトロニクス専攻（博士後期課程）

学年＼報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	備考
１年次	[2] 5	[－] 4	[－]	
２年次	[－]	[3] 11	[－]	
３年次	[－]	[－]	[－]	
計	[2] 5	[3] 15	[－]	

化学・生物応用工学専攻（博士後期課程）

学年＼報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	備考
１年次	[1] 5	[1] 5	[－]	
２年次	[－]	[1] 6	[－]	
３年次	[－]	[－]	[－]	
計	[1] 5	[2] 11	[－]	

社会基盤工学専攻（博士後期課程）

学年＼報告年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	備考
１年次	[1] 3	[1] 2	[－]	
２年次	[－]	[1] 6	[－]	
３年次	[－]	[－]	[－]	
計	[1] 3	[2] 8	[－]	

（注）１　[　　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（４）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

機械宇宙工学専攻（博士前期課程）

区分 / 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する退学者数の割合（a/b）
平成２０年度	計 [　]	計 [１] ４７人	[　%] ０　%
	うち平成２０年度入学者 ０人	うち平成２０年度 ４７人	
	（主な退学理由）		
平成２１年度	計 [　]	計 [１] ８６人	[　%] ０　%
	うち平成２０年度入学者 ０人	うち平成２０年度 ４７人	
	うち平成２１年度入学者 ０人	うち平成２１年度 ３９人	
	（主な退学理由）		
平成２２年度	計 [　]	計 [　]	[　%] %
	うち平成２０年度入学者 人	うち平成２０年度 人	
	うち平成２１年度入学者 人	うち平成２１年度 人	
	うち平成２２年度入学者 人	うち平成２２年度 人	
	（主な退学理由）		

（注）１［　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。

２「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は，各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。

３「主な理由」欄は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

区分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する退学者数の割合（a/b）
平成２０年度	計 [　　] うち平成２０年度入学者 ２人	計 [　　] ５６人 うち平成２０年度 ５６人	[　　%] ０%
	（主な退学理由） ・ 公務員試験の受験準備のため　１人 ・ 学生の心身に関する事情及び家庭の事情　１人		
平成２１年度	計 [　　] ２人 うち平成２０年度入学者 ２人 うち平成２１年度入学者 ０人	計 [２] １２８人 うち平成２０年度 ５６人 うち平成２１年度 ７２人	[０%] １．６%
	（主な退学理由）		
平成２２年度	計 [　　] うち平成２０年度入学者 人 うち平成２１年度入学者 人 うち平成２２年度入学者 人	計 [　　] うち平成２０年度 人 うち平成２１年度 人 うち平成２２年度 人	[　　%] %
	（主な退学理由）		

（注）１ [　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。
２「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は，各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。
３「主な理由」欄は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。
・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

区分 / 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する退学者数の割合（a/b）
平成２０年度	計 [ ] ２人	計 [１] ４４人	[０%] ４．５ %
	うち平成２０年度入学者 ２人	うち平成２０年度 ４４人	
	（主な退学理由） ・就職のため　２名		
平成２１年度	計 [ ] ２人	計 [１] ９２人	[０%] ２．２%
	うち平成２０年度入学者 ２人	うち平成２０年度 ４４人	
	うち平成２１年度入学者 ０人	うち平成２１年度 ４８人	
	（主な退学理由）		
平成２２年度	計 [ ]	計 [ ]	[%] %
	うち平成２０年度入学者 人	うち平成２０年度 人	
	うち平成２１年度入学者 人	うち平成２１年度 人	
	うち平成２２年度入学者 人	うち平成２２年度 人	
	（主な退学理由）		

（注）１［　］内には，留学生の状況について内数で記入してください。
２「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は，各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。
３「主な理由」欄は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。
・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

区分 / 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する退学者数の割合（a/b）
平成２０年度	計 [ ] ４人	計 [１] ４１人	[０%] ９．８ %
	うち平成２０年度入学者 ４人	うち平成２０年度 ４１人	
	（主な退学理由） ・就職のため　４名		
平成２１年度	計 [ ] ４人	計 [１] ８３人	[０%] ４．８%
	うち平成２０年度入学者 ４人	うち平成２０年度 ４１人	
	うち平成２１年度入学者 ０人	うち平成２１年度 ４２人	
	（主な退学理由）		
平成２２年度	計 [ ]	計 [ ]	[%] %
	うち平成２０年度入学者 人	うち平成２０年度 人	
	うち平成２１年度入学者 人	うち平成２１年度 人	
	うち平成２２年度入学者 人	うち平成２２年度 人	
	（主な退学理由）		

（注）１ [　]内には，留学生の状況について内数で記入してください。
２「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は，各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。
３「主な理由」欄は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。
・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

区分 / 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する退学者数の割合（a/b）
平成２０年度	計 [ ] ０人	計 [１] ３人	[%] ０％
	うち平成２０年度入学者 ０人	うち平成２０年度 ３人	
	（主な退学理由）		
平成２１年度	計 [ ] ０人	計 [１] ５人	[%] ０ ％
	うち平成２０年度入学者 ０人	うち平成２０年度 ３人	
	うち平成２１年度入学者 ０人	うち平成２１年度 ２人	
	（主な退学理由）		
平成２２年度	計 [ ] 人	計 [ ] 人	[%] ％
	うち平成２０年度入学者 人	うち平成２０年度 人	
	うち平成２１年度入学者 人	うち平成２１年度 人	
	うち平成２２年度入学者 人	うち平成２２年度 人	
	（主な退学理由）		

（注）１ [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。
２「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は，各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（％）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。
３「主な理由」欄は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。
・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

区分 / 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する退学者数の割合（a/b）
平成２０年度	計 [ ] ０人 うち平成２０年度入学者 ０人 （主な退学理由）	計 [3] １１人 うち平成２０年度 １１人	[%] ０％
平成２１年度	計 [ ] ０人 うち平成２０年度入学者 ０人 うち平成２１年度入学者 ０人 （主な退学理由）	計 [3] １５人 うち平成２０年度 １１人 うち平成２１年度 ４人	[%] ０ ％
平成２２年度	計 [ ] 人 うち平成２０年度入学者 人 うち平成２１年度入学者 人 うち平成２２年度入学者 人 （主な退学理由）	計 [ ] 人 うち平成２０年度 人 うち平成２１年度 人 うち平成２２年度 人	[%] ％

（注）１ [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。
２「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は，各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（％）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。
３「主な理由」欄は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。
・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

区分 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する退学者数の割合（a/b）
平成２０年度	計 [ ] ０人 うち平成２０年度入学者 ０人 （主な退学理由）	計 [１] ６人 うち平成２０年度 ６人	[%] ０％
平成２１年度	計 [ ] ０人 うち平成２０年度入学者 ０人 うち平成２１年度入学者 ０人 （主な退学理由）	計 [２] １１人 うち平成２０年度 ６人 うち平成２１年度 ５人	[%] ０ ％
平成２２年度	計 [ ] 人 うち平成２０年度入学者 人 うち平成２１年度入学者 人 うち平成２２年度入学者 人 （主な退学理由）	計 [ ] 人 うち平成２０年度 人 うち平成２１年度 人 うち平成２２年度 人	[%] ％

（注）１ [ ]内には，留学生の状況について内数で記入してください。
２「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は，各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。
３「主な理由」欄は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。
・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

区分 / 対象年度	退学者数（a）	入学者数（b）	入学者に対する退学者数の割合（a/b）
平成２０年度	計 [ ] ０人	計 [１] ６人	[%] ０％
	うち平成２０年度入学者 ０人	うち平成２０年度 ６人	
	（主な退学理由）		
平成２１年度	計 [ ] ０人	計 [２] ８人	[%] ０ ％
	うち平成２０年度入学者 ０人	うち平成２０年度 ６人	
	うち平成２１年度入学者 ０人	うち平成２１年度 ２人	
	（主な退学理由）		
平成２２年度	計 [ ] 人	計 [ ] 人	[%] ％
	うち平成２０年度入学者 人	うち平成２０年度 人	
	うち平成２１年度入学者 人	うち平成２１年度 人	
	うち平成２２年度入学者 人	うち平成２２年度 人	
	（主な退学理由）		

（注）１ [ ]内には；留学生の状況について内数で記入してください。
２「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は，各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（％）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。
３「主な理由」欄は，下の項目を参考に，その人数も含めて記入してください。
・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

2 授業科目の概要

＜工学研究科　機械宇宙工学専攻（博士前期課程）＞

（1）授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専攻共通科目		応用数学特論	1前		2		1					
		応用物理学特論	1後		2		1					
		固体力学特論	1後		2		1					
		計算力学	1後 ~~1前~~		2			0 ~~1~~				退職教員の後任未補充による減及び履修時期の変更(21)
		材料科学特論	1後		2		1					
		燃焼工学	1後		2		1					
		流体力学特論	1前		2		1					
		気体力学特論	1前		2		1					
		航空宇宙流体力学	1後		2				1			
		高速空気力学	1前		2		1					
		シミュレーション特論	1後		2		1					
		機械宇宙工学特別講義Ⅰ	1前		1							
		機械宇宙工学特別講義Ⅱ	1後		1							
		機械宇宙工学特別研究	1～2通				13 ~~14~~	1				退職教員の後任未補充による減(21)
機械工学コース科目		振動工学特論	1前 ~~1後~~		2			1				履修見直しにより，配当時期の変更(21)
		伝熱工学特論	1前		2			1	~~1~~			教員の昇任による変更(20)
		材料強度学特論	1後		2				1			
		信頼性工学	1前		2			1				
		機械設計学特論	1前		2		1					
		機械加工学特論	1前		2		1					
		生産システム工学特論	1後		2			1	~~1~~			教員の昇任による変更(20)
		制御工学特論	1前		2			0 ~~1~~				退職教員の後任未補充による減(20)
		計測工学特論	1後		2		1					
		品質工学	1前		2		1					
		生産環境システム論	1後		2		1					
		環境負荷評価論	1前		2			1				
		機械工学特別実験及び演習	2前		3		8 ~~7~~	4	2 ~~4~~			採用による教員の増(21) 昇任による教員の減(20)
		機械工学特別演習	2後		3		8 ~~7~~	4	2 ~~4~~			採用による教員の増(21) 昇任による教員の減(20)
応用数理工学コース科目		宇宙流体数理学輪講Ⅰ	1前		2		1		1			
		宇宙流体数理学輪講Ⅱ	1後		2		1		1			
		シミュレーション輪講Ⅰ	1前		2		1	1				
		シミュレーション輪講Ⅱ	1後		2		1	1				
		計算分子動力学特論	1前		2		1					
		数理物性力学輪講Ⅰ	1前		2		1	1				
		数理物性力学輪講Ⅱ	1後		2		1	1				
		予測工学輪講Ⅰ	1前		2			1				
		予測工学輪講Ⅱ	1後		2			1				
		数理予測特論	1後		2		1					
		数理予測輪講Ⅰ	1前		2		1					
		数理予測輪講Ⅱ	1後		2		1					
		数理モデリング論輪講Ⅰ	1前		2		1					
		数理モデリング論輪講Ⅱ	1後		2		1					
		応用数理工学特別輪講Ⅰ	2前		2		5 ~~6~~	3	1			退職教員の後任未補充による減(20)
		応用数理工学特別輪講Ⅱ	2後		2		5 ~~6~~	3	1			退職教員の後任未補充による減(20)
		応用数理工学特別演習	2通		6		5 ~~6~~	3	1			退職教員の後任未補充による減(20)
研究科共通科目	MOT基礎科目	技術経営論	1・2後		2		3	2				
		経営戦略とマーケティング	1・2前		2							
		経営理論の歴史と組織論	1・2後		2							
		ミクロ・マクロ経済学	1・2前		2							
		知的財産論	1・2後		2		1					
	MOT応用科目	技術経営応用研究	1・2前		2		3	2				
		MOTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ研究Ⅰ	1・2前		2		3	2				
		MOTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ研究Ⅱ	1・2後		2		3	2				
		産業科学特別講義Ⅰ	1・2前		1							
		産業科学特別講義Ⅱ	1・2前		1							
	キャリア実践科目	特別学外実習	1・2		1							
		長期特別学外実習	1・2		3							
		現代工学事情	1・2前		2							
	国際実践科目	国際連携特別研究	1・2		3							

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 59	科目 0	科目 59	科目 0 [0]	科目 59 [0]	科目 0 [0]	科目 59 [0]	

（3） 未開講科目（該当なし）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（4） 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名			単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1								
2								
3								

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）1 「（1） 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「（2） 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
3 「（3） 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「（4） 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学研究科　情報エレクトロニクス専攻（博士前期課程）＞

(1)授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専攻共通科目		知的システム制御特論	1・2前		2		1					
		知的生産システム論	1・2後		2		1					
		組込みソフトウエア設計論	1・2後		2		1					
		音声言語処理特論	1前		2			1				
		予測と意思決定	1・2後		2		1					
		適応・学習理論	1・2前		2		1					
		制御理論特論	1後		2			1				
		計測工学特論	1・2後		2		1					
		メカトロニクス	1前		2			1				
		システムLSI　設計論	1・2後		2		1					
		システムモデリング特論	1・2後		2		1					
		組合せ論	1前		2			1				
		ディジタル信号処理工学	1前		2			1				
		情報処理工学	1後		2		1					
		回路システム工学	1後		2		1	~~1~~				教員の昇任による変更(20)
		電子計測工学	1後		2			1				
		量子力学	1前		2			1				
		固体物性論	1後		2			1				
		半導体デバイス	1前		2			1				
		情報エレクトロニクス特別講義Ⅰ	1前		1							
		情報エレクトロニクス特別講義Ⅱ	1後		1							
		情報エレクトロニクス特別講義Ⅲ	2前		1							
		情報エレクトロニクス特別講義Ⅳ	2後		1							
		情報エレクトロニクス特別研究	1～2通				16	5				
知能情報工学コース科目		生産計画とマネジメント特論	1・2前		2		1					
		計算機網構成論	1・2後		2		1					
		言語知識ベース特論	1・2後		2		1					
		確率的情報処理論	1・2後		2		1					
		情報数理特論	1・2前		2		1					
		プログラミング特論	1前		2		1	~~1~~				教員の昇任による変更(21)
		情報ネットワーク特論	1・2後		2		1					
		ソフトコンピューティング論	1後 ~~1前~~		2			0 ~~1~~				辞職教員の後任未補充による減及び履修時期の変更(21)
		自然言語処理特論	1・2後		2		1					
		人工知能特論	1前		2			1				
		知能情報処理特論	1・2後		2		1					
		進化システム特論	1後		2			1				
		知能情報工学特別実験及び演習Ⅰ	1通		2		8	6 ~~8~~				辞職・昇任による教員の減(21)
		知能情報工学特別実験及び演習Ⅱ	2通		2		8	6 ~~8~~				辞職・昇任による教員の減(21)
電気電子工学コース科目		電気電子工学実験及び演習Ⅰ	1通		6		8 ~~7~~	7				採用による教員の増(20)
		電気電子工学実験及び演習Ⅱ	2通		6		8 ~~7~~	7				採用による教員の増(20)
		情報通信工学特論	1・2前 ~~1前~~		2		1					履修見直しによる配当年次の変更(21)
		信号処理工学特論	1前		2		1					
		電子情報工学特論	1後		2		1	~~1~~				担当教員変更による(20)
		演算制御工学特論	1後		2		1					
		電気電子回路工学特論	1後		2		1					
		知識制御工学特論	1後		2		1					
		電磁エネルギー工学特論	1後		2		1					
		電気電子機器工学特論	1後		2		1					
		固体電子工学特論	1前		2			1				
		電子物理工学特論	1後		2		1					
		磁性物理学特論	1前		2		1					
		光エレクトロニクス工学特論	1前		2		1					
		電子・光量子物理学特論	1前		2		1					
研究科共通科目	MOT基礎科目	技術経営論	1・2後		2		3	2				
		経営戦略とマーケティング	1・2前		2							
		経営理論の歴史と組織論	1・2後		2							
		ミクロ・マクロ経済学	1・2前		2							
		知的財産論	1・2後		2		1					
	MOT応用科目	技術経営応用研究	1・2前		2		3	2				
		MOTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ研究Ⅰ	1・2前		2		3	2				
		MOTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ研究Ⅱ	1・2後		2		3	2				
		産業科学特別講義Ⅰ	1・2前		1							
		産業科学特別講義Ⅱ	1・2前		1							
	キャリア実践科目	特別学外実習	1・2		1							
		長期特別学外実習	1・2		3							
		現代工学事情	1・2前		2							
	国際実践科目	国際連携特別研究	1・2		3							

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 67	科目 0	科目 67	科目 0 [0]	科目 67 [0]	科目 0 [0]	科目 67 [0]	

（3） 未開講科目（該当なし）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（4） 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名			単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1								
2								
3								

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）1 「（1） 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「（2） 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
3 「（3） 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「（4） 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学研究科　化学・生物応用工学専攻（博士前期課程）＞

(1)授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専攻共通科目		有機反応化学特論	1前		2		1					
		触媒設計特論	1前		2		1					
		構造化学特論	1後		2		1					
		有機合成化学特論	1前		2		1					
		有機材料設計特論	1前		2		1					
		無機材料化学特論	1.2後 ~~1後~~		2		1					履修見直しによる配当年次の変更(21)
		固体物理化学特論	1前		2		1					
		生物機能工学特論	1.2後 ~~1後~~		2		0 ~~1~~					退職教員の後任未補充による減(21) 履修見直しによる配当年次の変更(21)
		微生物生産工学特論	1後		2		0 ~~1~~					退職教員の後任未補充による減(21) 履修見直しによる配当年次の変更(21)
		酵素反応特論	1後		2		1					
		生分子機能工学特論	1.2前 ~~1後~~		2		1					履修見直しによる配当年次・時期の変更(21)
		生物有機化学特論	1前		2		1					
		生物化学特論	1前		2		1					
		生物化学工学特論	~~未開講~~ ~~1前~~		2		0 ~~1~~					退職教員の後任未定のため(21) 退職教員の後任未補充による減(21)
		生物反応工学特論	1後		2		0 ~~1~~					退職教員の後任未補充による減(21)
		応用化学特別講義Ⅰ	1.2後 ~~1.2前~~		1							履修見直しによる履修時期の変更(21)
		応用化学特別講義Ⅱ	1・2後		1							
		生物応用工学特別講義Ⅰ	1・2後		1							
		生物応用工学特別講義Ⅱ	1・2後		1							
		化学・生物応用工学特別研究	1～2通				10 ~~11~~	1				教員退職による減(21) 有資格准教授増(20)
応用化学コース科目		表面化学特論	1.2前 ~~1前~~		2			1				履修見直しによる配当年次の変更(21)
		有機金属化学特論	1後		2			1				
		精密合成化学特論	1後		2		~~1~~		1			担当教員変更による(20)
		錯体触媒化学特論	1前		2			1				
		有機材料化学特論	1後		2			1				
		機能材料化学特論	1前 ~~1後~~		2			1				履修見直しによる履修時期の変更(21)
		無機元素化学特論	1後		2			1				
		電子材料化学特論	~~未開講~~ ~~1後~~		2		0 ~~1~~					履修希望者なし(20) 退職教員の後任未補充(20)
		応用化学特別実験及び演習Ⅰ	1前		2		2					
		応用化学特別実験及び演習Ⅱ	1後		2		1	1				
		応用化学特別実験及び演習Ⅲ	2前		2		2					
		応用化学特別実験及び演習Ⅳ	2後		2		1	1				
生物応用工学コース科目		微生物生理学特論	1.2後 ~~1後~~		2			1				履修見直しによる配当年次の変更(21)
		超分子化学特論	1後		2			1				
		遺伝子工学特論	1.2後 ~~1後~~		2				1			履修見直しによる配当年次の変更(21)
		生体触媒機能特論	1前		2			1				
		生分子分離工学特論	1前		2			1				
		生物応用工学特別実験及び演習Ⅰ	1前		2			1				
		生物応用工学特別実験及び演習Ⅱ	1後		2			1				
		生物応用工学特別実験及び演習Ⅲ	2前		2			~~1~~	1			担当教員変更による(21)
		生物応用工学特別実験及び演習Ⅳ	2後		2			1				
研究科共通科目	MOT基礎科目	技術経営論	1・2後		2		3	2				
		経営戦略とマーケティング	1・2前		2							
		経営理論の歴史と組織論	1・2後		2							
		ミクロ・マクロ経済学	1・2前		2							
		知的財産論	1・2後		2		1					
	MOT応用科目	技術経営応用研究	1・2前		2		3	2				
		MOTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ研究Ⅰ	1・2前		2		3	2				
		MOTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ研究Ⅱ	1・2後		2		3	2				
		産業科学特別講義Ⅰ	1・2前		1							
		産業科学特別講義Ⅱ	1・2前		1							
	キャリア実践科目	特別学外実習	1・2		1							
		長期特別学外実習	1・2		3							
		現代工学事情	1・2前		2							
	国際実践科目	国際連携特別研究	1・2		3							

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 55	科目 0	科目 55	科目 0 [0]	科目 55 [0]	科目 0 [0]	科目 55 [0]	

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	電子材料化学特論	2	1後	専門	選択	履修希望者なし(20)
2	生物化学工学特論	2	1前	専門	選択	退職教員未補充のため開設できず(21)
3						

（4） 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名			単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1								
2								
3								

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
(3) 未開講科目のうち，番号１の授業科目については，履修希望者がいないために影響はない。
また，番号２の授業科目の退職教員未補充のため開設できない科目は，早急に後任補充し，次年度開講したい。

「学生への周知方法」
番号５の授業科目については，１年次には今年度開講できない旨周知するとともに，次年度開講する旨周知した。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

(注) 1 「(1) 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「(2) 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[ ] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
3 「(3) 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「(4) 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学研究科　社会基盤工学専攻（博士前期課程）＞

（1）授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専攻共通科目		防災工学	1後		2		1					
		交通計画学特論	1後		2		1					
		信頼性設計工学	1前		2		0 ~~1~~					非常勤講師へ担当変更(20)
		情報システム特論	1後		2			1				
		確率システム工学特論	1後		2			1				
		システム計画学特論	1後		2		1					
		環境システム工学	1前		2		1	~~1~~				担当教員変更による(20)
		海洋構造工学	1前		2		1					
		地圏情報工学特論	1前		2		1					
		固体地球科学特論	1後		2			1				
		海洋基礎工学特論	1後		2		1					
		海岸工学特論	1前		2		1					
		海域制御工学	1後		2		1					
		社会基盤工学特別講義Ⅰ	1・2		1							
		社会基盤工学特別講義Ⅱ	1・2		1							
		社会基盤工学特別講義Ⅲ	1・2		1							
		社会基盤工学特別講義Ⅳ	1・2		1							
		社会基盤工学特別研究	1～2通				13	1				有資格准教授増(20)
土木工学コース科目		構造振動学特論	1後		2		~~1~~	1				担当教員変更による(20)
		地盤工学特論	1前		2		1					
		土質工学特論	1後		2			1				
		建設材料学特論	1後		2			1				
		コンクリート物性論	1後		2			1				
		コンクリート構造学特論	1前		2		1					
		岩盤力学特論	1前		2			1				
		水工計画学特論	1前		2			1				
		海岸水理学特論	1後		2			1				
		土木工学輪講Ⅰ	2前		2		7	8				
		土木工学輪講Ⅱ	2前		2		7	8				
		土木工学特別実験及び演習	2後		2		7	8				
社会経営工学コース科目		品質マネジメント	1前		2		1	~~1~~				担当教員変更による(20)
		OR特論	1後		2		1					
		地域経済学	1前		2			1				
		地域計画学特論	1前		2			1				
		海洋開発工学特論	1前		2		1					
		環境管理工学	1前		2		~~1~~	1				担当教員変更による(20)
		社会経営工学輪講Ⅰ	2前		2		1					
		社会経営工学輪講Ⅱ	2後		2		1					
		社会経営工学特別実験及び演習Ⅰ	2前		2		6 ~~5~~	5				採用による教員の増(20)
		社会経営工学特別実験及び演習Ⅱ	2後		2		6 ~~5~~	5				採用による教員の増(20)
研究科共通科目	MOT基礎科目	技術経営論	1・2後		2		3	2				
		経営戦略とマーケティング	1・2前		2							
		経営理論の歴史と組織論	1・2後		2							
		ミクロ・マクロ経済学	1・2前		2							
		知的財産論	1・2後		2		1					
	MOT応用科目	技術経営応用研究	1・2前		2		3	2				
		MOTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ研究Ⅰ	1・2前		2		3	2				
		MOTﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ研究Ⅱ	1・2後		2		3	2				
		産業科学特別講義Ⅰ	1・2前		1							
		産業科学特別講義Ⅱ	1・2前		1							
	キャリア実践科目	特別学外実習	1・2		1							
		長期特別学外実習	1・2		3							
		現代工学事情	1・2前		2							
	国際実践科目	国際連携特別研究	1・2		3							

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 54	科目 0	科目 54	科目 0 [0]	科目 54 [0]	科目 0 [0]	科目 54 [0]	

（3） 未開講科目（該当なし）

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（4） 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名			単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1								
2								
3								

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

（注）1 「（1） 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「（2） 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
3 「（3） 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「（4） 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学研究科　機械宇宙工学専攻（博士後期課程）＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
専門科目	ハイブリッド力学特論	1・2前		2		1					
	材料組織制御工学特論	1・2後		2		1					
	材料物性解析論	未開講 ~~1・2後~~		2		1		1			履修希望者なし(20)
	先端材料学特論	1・2後		2			1				
	機素潤滑工学特論	1・2後		2			1				
	計算強度評価学特論	未開講 ~~1・2前~~		2		1					履修希望者なし(21) 教員の昇任による変更(21)
	精密加工学特論	未開講 ~~1・2前~~		2		1	1	~~1~~			履修希望者なし(21)
	非線形制御工学特論	1・2後		2			1				教育課程充実のため科目を追加(20)
	騒音制御工学特論	1・2後		2		1					
	熱機関学特論	1・2前		2		1					
	原動機燃焼工学特論	1・2前		2			1	~~1~~			教員の昇任による変更(21)
	高温気体力学	未開講 ~~1・2後~~		2		1		1			履修希望者なし(20)
	品質工学特論	1・2後		2		1					
	表面工学特論	未開講 ~~1・2後~~		2		1		1			履修希望者なし(20) 担当教員増(21)
	環境負荷評価論	1・2前		2			1				
	気体力学特論	1・2後		2		~~1~~					後任未定(20)
	流体力学特論	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2		1					開講済(21) 履修希望者なし(20)
	シミュレーション力学特論	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2		1	1				開講済(21) 履修希望者なし(20)
	計算物質設計特論	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2		1	1				開講済(21) 履修希望者なし(20)
	非線形安定性理論	1・2後		2		1					
	光計測工学特論	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2			1				開講済(21) 履修希望者なし(20)
	電子状態計算特論	1・2後		2		1					教育課程充実のため科目を追加(21)
総合科目	特別研究	1～3通				13 ~~14~~	1				退職教員後任未補充(20)
	特別実験	1～3通				13 ~~14~~	7	2 ~~5~~			退職教員後任未補充(20) 教員の昇任による変更(21)

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 22	科目 0	科目 22	科目 0 [0]	科目 24 [2]	科目 0 [0]	科目 24 [2]	

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	材料物性解析論	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし(20)
2	計算強度評価学特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(21)
3	精密加工学特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(21)
4	高温気体力学	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし(20)
5	表面工学特論	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし(20)

（4） 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名			単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1								
2								
3								

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
未開講科目については，履修希望者がいないため影響はない。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.22$$

（注） 1 「(1) 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「(2) 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
3 「(3) 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「(4) 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学研究科　情報エレクトロニクス専攻（博士後期課程）＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専門科目	知能型プロセス制御特論	未開講 ~~1・2前~~		2		1					履修希望者なし(21)
	制御システム構成論	1・2前		2			1				
	知的制御工学特論	1・2後		2		1					
	ナノテクノロジ特論	未開講 ~~1・2後~~		2		1					履修希望者なし(20)
	知能機械特論	未開講 ~~1・2前~~		2			1				履修希望者なし(21)
	計算機方式特論	1・2後		2		1	1				
	自然言語処理論	1・2前		2		1					
	音声情報処理論	未開講 ~~1・2後~~		2			1				履修希望者なし(20)
	情報システム工学特論	未開講 ~~1・2前~~		2		0 ~~1~~	0 ~~1~~				退職・辞職後任未定のため(21)
	複雑系科学特論	未開講 ~~1・2後~~		2		1					履修希望者なし(20)
	ディジタル音声信号処理	1・2後		2			1				
	知的計算機支援システム特論	未開講 ~~1・2後~~ 1・2前		2		1	1				履修希望者なし(20) 開講済(21)
	離散数学特論	~~未開講~~ ~~1・2前~~		2			1				履修希望者なし(20)
	適応信号処理特論	1・2後		2		1					
	回路設計工学特論	1・2前		2			1				
	アナログ信号処理特論	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2			1				開講済(21) 履修希望者なし(20)
	制御システム工学特論	1・2後		2		1					
	最適化アルゴリズム特論	1・2後		2			1				
	電子計測工学特論	1・2前		2		1					
	センサー工学特論	未開講 ~~1・2前~~ 1・2前		2		1					履修希望者なし(21) 開講済(21)
	エネルギー資源有効利用論	~~未開講~~ ~~1・2前~~ 1・2前		2			1				履修希望者なし(20) 開講済(21)
	半導体デバイス工学特論	~~未開講~~ ~~1・2前~~		2		1	1				履修希望者なし(20)
	分子電子デバイス工学特論	1・2後		2			1				
	電子ディスプレイ材料工学特論	1・2後		2			1				
	固体電子デバイス工学特論	1・2前		2			1				
	電子物性工学特論	1・2前		2		1					
	磁気物性工学特論	1・2前		2		1					
	ロボットビジョン特論	未開講 ~~1・2前~~		2		1					履修希望者なし(21) 教育課程充実のため科目を追加(21)
	計算機ソフトウェア特論	1・2後		2		1					教育課程充実のため科目を追加(21)
総合科目	特別研究	1～3通				16	4 ~~5~~				辞職教員後任未補充(21)
	特別実験	1～3通				16	13 ~~15~~				辞職教員後任未補充(21)

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 29	科目 0	科目 29	科目 0 [0]	科目 31 [2]	科目 0 [0]	科目 31 [2]	

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	知能型プロセス制御特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし (21)
2	ナノテクノロジ特論	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし (20)
3	知能機械特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし (21)
4	音声情報処理論	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし (20)
5	情報システム工学特論	2	1・2前	専門	選択	退職・辞職教員未補充のため開設できず (21)
6	複雑系科学特論	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし (20)
7	知的計算機支援システム特論	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし (20)
8	センサー工学特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし (21)
9	ロボットビジョン特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし (21)

（4） 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名			単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1								
2								
3								

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
(3) 未開講科目のうち，番号１～４，６～９の授業科目については，履修希望者がいないため影響はない。
また，番号５の授業科目の退職・辞職教員未補充のため開設できない科目は，早急に後任補充し，次年度開講したい。

「学生への周知方法」
番号５の授業科目については，1年次には今年度開講しない旨周知するとともに，次年度開講する旨周知した。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.31$$

（注） 1 「（1） 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「（2） 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
3 「（3） 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「（4） 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学研究科　化学・生物応用工学専攻（博士後期課程）＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
専門科目	触媒化学特論	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2		1					開講済(21) 履修希望者なし(20)
	応用分析化学特論	1・2後		2			1				
	固体イオニクス特論	1・2後		2		1					
	無機プロセス化学特論	~~未開講~~ ~~1・2前~~ 1・2後		2			1				履修希望者なし(20)(21) 開講済(21)
	無機反応化学特論	~~未開講~~ ~~1・2後~~		2		1					履修希望者なし(20)
	エネルギー変換化学特論	1・2後		2		1					
	機能分子合成特論	1・2前		2		1					
	機能性複素環特論	1・2後		2			1				
	反応器設計特論	1・2前		2			1				
	精密分離工学特論	1・2後		2		~~1~~					退職教員後任未定(21)
	生物機能工学特論	1・2前		2				1			
	蛋白質構造機能特論	1・2後		2		1	1				担当教員増(21)
	生物機能反応工学特論	1・2前		2		~~1~~					退職教員後任未定(21)
	生体触媒工学特論	1・2後		2			1				
	微生物遺伝子工学特論	1・2前		2		1	1				担当教員増(21)
	有機反応化学特論	1・2前		2		1		1			担当教員増(21)
	炭素-炭素結合生成特論	1・2前		2			1				
	不斉有機合成化学特論	1・2後		2		1					
	生物有機合成化学特論	1・2後		2		1	1				
	有機分子工学特論	~~未開講~~ ~~1・2後~~		2			2 ~~1~~				担当教員増(21) 履修希望者なし(20)
総合科目	特別研究	1～3通				9 ~~10~~	2 ~~0~~				担当教員増(21) 退職教員後任未定による減(21)
	特別実験	1～3通				9 ~~10~~	 10	2 ~~1~~			担当教員増(21) 退職教員後任未定による減(21)

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 22	科目 0	科目 22	科目 0 [0]	科目 22 [0]	科目 0 [0]	科目 22 [0]	

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	無機プロセス化学特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし (20) (21)
2	有機分子工学特論	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし (20)

（4） 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名			単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1								
2								
3								

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
未開講科目については，履修希望者がいないために影響はない。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.09$$

（注）1 「（1） 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「（2） 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
3 「（3） 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「（4） 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学研究科　社会基盤工学専攻（博士後期課程）＞

（1） 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考
専門科目	材料物性論	未開講 ~~1・2後~~		2			1				履修希望者なし(20)
	コンクリート構造設計論	1・2後		2		1					
	コンクリート工学特論	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2			1				教育課程充実のため科目を追加(20) 開講済(21) 履修希望者なし(20)
	構造動力学特論	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2			1				開講済(21) 履修希望者なし(20)
	海洋構造工学特論	未開講 ~~1・2前~~		2		1					履修希望者なし(20)(21)
	土砂水理学	1・2前		2		1					
	環境水理学特論	1・2後		2			1				
	応用地盤工学	1・2後		2		1					
	土質物性論	未開講 ~~1・2前~~		2			1				履修希望者なし(20)(21)
	漂砂論	1・2後		2			1				
	沿岸海洋工学	1・2前		2		1					
	海洋開発システム論	1・2後		2		1					
	海域制御工学特論	1・2前		2		1					
	地圧制御論	1・2後		2			1				
	施工情報工学特論	未開講 ~~1・2前~~		2		1					履修希望者なし(20)(21)
	地震工学特論	1・2前		2		1					
	地球科学	未開講 ~~1・2後~~		2			1				履修希望者なし(20)
	経営管理工学特論	1・2後		2		1					
	確率制御論	未開講 ~~1・2前~~		2			1				履修希望者なし(20)(21)
	情報数理工学	1・2前 ~~未開講~~ ~~1・2前~~		2			1				開講済(21) 履修希望者なし(20)
	情報管理工学	未開講 ~~1・2前~~		2		1					履修希望者なし(21)
	社会システム工学特論	未開講 ~~1・2前~~		2			1				履修希望者なし(21)
	都市経済学	未開講 ~~1・2後~~		2			1				履修希望者なし(20)
	都市計画学	未開講 ~~1・2後~~		2		1					履修希望者なし(20)
	交通システム計画学	未開講 ~~1・2前~~		2		1					履修希望者なし(20)(21)
	環境システム工学特論	1・2後		2		1					
	環境計画学特論	1・2前		2			1				
総合科目	特別研究	1～3通				13	1 ~~0~~				担当教員増(21)
	特別実験	1～3通				13	13				

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 28	科目 0	科目 28	科目 0 [0]	科目 29 [1]	科目 0 [0]	科目 29 [1]	

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	材料物性論	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし(20)
2	海洋構造工学特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(20) (21)
3	土質物性論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(20) (21)
4	施工情報工学特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(20) (21)
5	地球科学	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし(20)
6	確率制御論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(20) (21)
7	情報管理工学	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(21)
8	社会システム工学特論	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(21)
9	都市経済学	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし(20)
10	都市計画学	2	1・2後	専門	選択	履修希望者なし(20)
11	交通システム計画学	2	1・2前	専門	選択	履修希望者なし(20) (21)

（4） 廃止科目（該当なし）

番号	授業科目名			単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1								
2								
3								

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
未開講科目については，履修希望者がいないために影響はない。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.39$$

（注） 1 「(1) 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
2 「(2) 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[ ] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
3 「(3) 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
4 「(4) 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3　既設大学等の状況

大学の名称	鳥取大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育地域科学部							平成11年		
学校教育課程	4	－	－	－	－	－	平成11年	鳥取県鳥取市	平成16年度から
人間文化課程	4	－	－	－	－	－	平成11年	湖山町南４丁	学生募集停止
地域政策課程	4	－	－	－	－	－	平成11年	目１０１番地	
地域科学課程	4	－	－	－	－	－	平成11年		
地域学部							平成16年		
地域政策学科	4	49	－	199	学士（地域学）	1.07	平成16年	鳥取県鳥取市	
地域教育学科	4	49	－	199	学士（地域学）	1.06	平成16年	湖山町南４丁	
地域文化学科	4	48	－	183	学士（地域学）	1.06	平成16年	目１０１番地	
地域環境学科	4	44	－	179	学士（地域学）	1.09	平成16年		
医学部							昭和24年		
医学科	6	85	2年次 5 3年次 5	485	学士（医学）	1.00	昭和24年	鳥取県米子市 西町８６番地	
生命科学科	4	40	－	160	学士（生命科学）	1.06	平成 2年		
保健学科							平成11年		
看護学専攻	4	80	10	340	学士（看護学）	1.01	平成11年		
検査技術科学専攻	4	40	5	170	学士（保健学）	1.06	平成11年		
工学部							昭和40年		
機械工学科	4	65	－	260	学士（工学）	1.08	平成 7年	鳥取県鳥取市	
知能情報工学科	4	60	－	240	学士（工学）	1.06	平成 7年	湖山町南４丁	
電気電子工学科	4	65	－	260	学士（工学）	1.13	平成 7年	目１０１番地	
物質工学科	4	60	－	240	学士（工学）	1.06	平成 元年		
生物応用工学科	4	40	－	160	学士（工学）	1.11	平成 元年		
土木工学科	4	60	－	240	学士（工学）	1.06	平成 元年		
社会開発システム工学科	4	60	－	240	学士（工学）	1.09	平成 元年		
応用数理工学科	4	40	－	160	学士（工学）	1.15	平成 7年		
農学部							昭和24年	鳥取県鳥取市	
生物資源環境学科	4	200	－	800	学士（農学）	1.05	平成11年	湖山町南４丁	
獣医学科	6	35	－	210	学士（獣医学）	1.08	昭和24年	目１０１番地	
学部計		1,120	25	4,725		－			

（注）１　本調査の対象となっている大学等の設置者が，すでに設置している大学の学部，学部の学科について状況を記入してください。
（大学院に係るものについては，記入する必要はありません。）

２　事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

３　「定員超過率」欄には，過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科単位で記入してください。なお，学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

４　学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，備考欄に「平成○年より学生募集停止」と記入してください。

4　教員組織の状況

＜工学研究科　機械宇宙工学専攻（博士前期課程）＞
専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12 (12)	11 (11)	23 (23)	0 (0)	14 [2]	10 [△1]	24 [1]	0 [0]	

＜工学研究科　情報エレクトロニクス専攻（博士前期課程）＞
専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
19 (19)	11 (11)	30 (30)	0 (0)	20 [1]	9 [△2]	29 [△1]	0 [0]	

＜工学研究科　化学・生物応用工学専攻（博士前期課程）＞
専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
14 (14)	10 (10)	24 (24)	0 (0)	12 [△2]	10 [0]	22 [△2]	0 [0]	

＜工学研究科　社会基盤工学専攻（博士前期課程）＞
専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12 (12)	13 (13)	25 (25)	0 (0)	13 [1]	13 [0]	26 [1]	0 [0]	

＜工学研究科　機械宇宙工学専攻（博士後期課程）＞
専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12 (12)	11 (11)	23 (23)	0 (0)	14 [2]	10 [△1]	24 [1]	0 [0]	

＜工学研究科　情報エレクトロニクス専攻（博士後期課程）＞
専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
19 (19)	11 (11)	30 (30)	0 (0)	20 [1]	9 [△2]	29 [△1]	0 [0]	

＜工学研究科　化学・生物応用工学専攻（博士後期課程）＞
専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
13 (13)	10 (10)	23 (23)	0 (0)	11 [△2]	10 [0]	21 [△2]	0 [0]	

＜工学研究科　社会基盤工学専攻（博士後期課程）＞
専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12 (12)	13 (13)	25 (25)	0 (0)	13 [1]	13 [0]	26 [1]	0 [0]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には，完成時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，「変更状況」欄には，平成２１年５月１日現在（就任年月に達していない者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。
（記入例：１名減の場合：△１）

5　その他全般的事項

＜工学研究科＞

情報提供に関する事項

① 設置計画書等

a　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

b　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　２１　年　７　月　頃　）

c　文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク
（ 承 諾 す る ・ 承諾しない ）

d　上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?menuid=1557)

② 設置計画履行状況報告書

a　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

b　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　２１　年　７　月　頃　）

c　文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
（ 承 諾 す る ・ 承諾しない ）

d　上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?menuid=1557)

（注）「情報提供に関する事項」の「①」について，現在は未公表であり，今後公表を予定している場合，公表後の取扱いについて記入してください。
　また，「①」又は「②」の「ｃ」において「承諾する」場合，文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので，大学等のトップページではなく直接リンクする先を「ｄ」に記入してください。
　なお，「②」について，「ｄ」のリンク先のアドレスが未定の場合は，決まり次第，文部科学省高等教育局大学設置室あてに，メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス ： d-secci@mext.go.jp
　件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先（○○大学）」としてください。